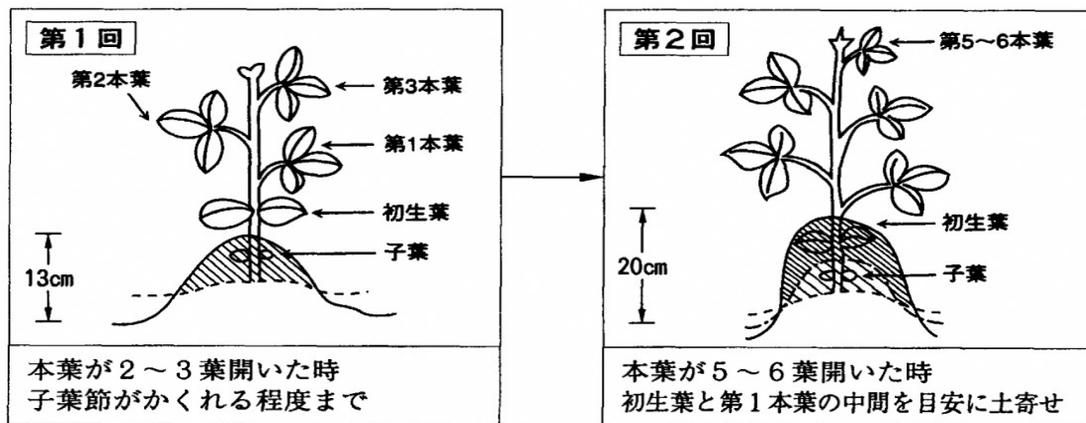


大豆だより

土寄せ効果と湿害対策で良質大豆を！！

土寄せは根量の増大、倒伏防止、雑草抑制の効果があり、収量を高めるための重要な作業です。精度の高い土寄せに努めましょう。梅雨時期は断続的な降雨が予想されることから、今一度排水溝の点検・整備を実施し、湿害の防止に努めましょう。

1. 土 寄 せ



- ① 株元に十分に土寄せし、うねの中央部が低くならないようにする。
- ② 開花期以降の培土は、根を痛めて収量の低下を招くため、遅くとも開花期10日前までに2回目の土寄せを終わらせる。(例年の開花期:7月20～25日頃)
- ③ 土寄せによる溝は、必ず排水溝に繋ぐ。

2. 土寄せ時期の目安

| | 実施時期 |
|----------------|-------------|
| 第1回土寄せ (2～3葉期) | 播種後15～20日まで |
| 第2回土寄せ (5～6葉期) | 7月1日～10日まで |

※ うね立て同時播種を実施したほ場では、5～6葉期の1回のみ土寄せを行う。

3. 追 肥 (大豆一発肥料を使用している場合は、追肥不要)

- ① 肥料焼けを防ぐため、大豆の葉に露のない時に施用する。
- ② 過繁茂の場合は施用しない。

| 施用時期 | 肥料名 | 10a当たり施用量(kg) |
|--|---------|---------------|
| 第2回土寄せ時 | 硫 安 | 10 |
| | LPコート70 | 20 |
| 7月下旬(開花期10日後) (第2回土寄せ時にLPコート70 を施用した場合は不要) | 硫 安 | 10～20 |

4. 排水対策の徹底

6月下旬から7月にかけての梅雨時期は断続的な降雨が予想されます。今一度排水溝を水止尻に繋ぐなど、排水対策を徹底してください。この時期の排水不良は、大豆根粒菌の活性化を阻害し、収量・品質の低下を招く恐れがあります。

5. 除草剤散布

※周辺作物にかからないよう注意して下さい。

| | 薬剤名 | 使用時期 | 10a 当たり 使用薬量 | 希釈水量 | 使用 回数 |
|------------|-------------------------|--|-----------------|--------------|----------|
| 全面処理 | ポルトフロアブル | イネ科雑草 3~10葉期 ※収穫30日前まで | 200~ 300ml | 50~ 100ℓ | 1回 |
| | 大豆バサグラン液剤 【注1】 | 広葉雑草(主にタデ類) 雑草生育初期~6葉期 (大豆本葉2葉~開花前) ※収穫45日前まで | 100~ 150ml | 100ℓ | 1回 |
| 畝間 | バスタ液剤 (大豆にかかると枯れます！) | 雑草生育期 ※収穫28日前まで | 300~ 500ml | 100~ 150ℓ | 2回 以内 |
| 畦畔 【注2】 | ラウンドアップ マックスロード | 雑草生育期 ※収穫前日まで | 200~ 500ml | 50~ 100ℓ | 3回 以内 |
| | タッチダウンiQ | 雑草生育期(草丈30cm以下) ※収穫前日まで | 250~ 500ml | 50~ 100ℓ | 2回 以内 |
| | プリグロックスL | 雑草生育期(草丈30cm以下) ※収穫3日前まで | 600~ 1000ml | 100~ 150ℓ | 4回 以内 |

【注1】

大豆バサグラン液剤を散布すると、大豆の葉に斑点、色抜け、黄変、萎縮、部分枯死等の薬害が生じる場合があります。

【注2】

大豆の畦畔除草には、バスタ液剤、ラウンドアップマックスロード、タッチダウンiQ、プリグロックスLが使用できます。

これらを畝間に使用する場合は、飛散防止カバーを使用するなど、大豆に飛散しないよう、十分に注意してください。

- ・ラウンドアップマックスロードとタッチダウンiQは同じ成分です。使用回数に注意し使用してください。
- ・ラウンドアップマックスロードやタッチダウンiQを少量散布する場合は、専用のノズルを用いてください。

6. 病害虫防除

※無人ヘリ防除の薬剤と同じ薬剤です。

| | 防除時期 | | 薬剤名 | 散布量 | 対象病害虫 |
|------|------------|----------------------|-----------------|---------------------------|---------------------------------|
| 基幹防除 | 1回目 | 開花期(盛期) 7月25日~30日 | スミトップM粉剤 | 3kg | カメムシ類、紫斑病、マメシクイガ |
| | 2回目 | 着莢期 8月中旬 | トレボン粉剤 DL | 3kg | カメムシ類、紫斑病、マメシクイガ |
| | 3回目 | 子実肥大期 9月上旬 | トレボン粉剤DL | 4kg | カメムシ類、マメシクイガ、ハスモンヨトウ、フタスジヒメハムシ等 |
| 随時 | ウコンノメイガ発生時 | | プレバソン フロアブル5 | 4,000倍希釈液 100~300ℓ/10a | ハスモンヨトウ、ウコンノメイガ、マメシクイガ等 |

・薬剤は、莢まで十分にかかるように散布してください。

・無人ヘリ防除は、7月下旬(プレバソンフロアブル5+アミスター20フロアブル)、

・8月中旬(トレボンエアー)、8月下旬(スタークル液剤10)の散布を予定しています。

詳しいことは営農指導員にお尋ね下さい